

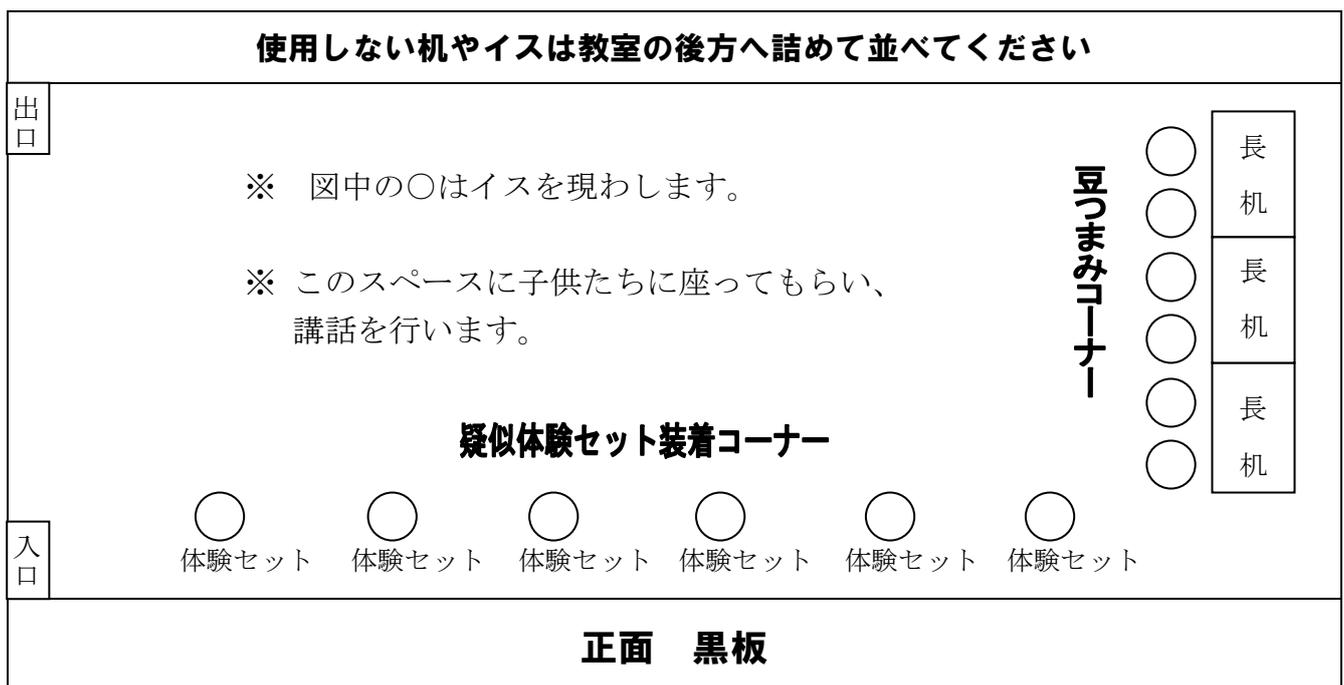
高齢者疑似体験マニュアル

～福祉実践教室に関する準備・留意事項～

◎事前の準備と体験中の注意

- ★ 豆つまみコーナーと疑似体験セット装着コーナーの2つのグループに分かれます。それぞれのグループ内で2人1組のペアを作ってください。
- ★ 疑似体験セットを装着して歩行するコースをあらかじめ設定してください。(階段を含む)体験では、1人が装具をつけ、もう1人は介助者役となり装着の手伝いやコースで介助を行います。階段下降時には転倒に注意してください。また、他の授業の邪魔にならないようにコースを設定してください。
- ★ 疑似体験セット(箱入り)とバッグ(黒)の搬入は、全部会場に運んでおいてください。
- ★ 疑似体験セット装着コーナーは、クラスの生徒数の1/4の椅子を、豆つまみコーナーはクラスの生徒数の1/4の机(長机は2人用)と1/4の椅子をご用意ください。
- ★ 実施する教室が広い場合はマイクの用意をお願いします。
- ★ 高齢者疑似体験セットを使用する際にマジックテープを使用しますので、傷のつきやすい洋服は避けるようにしてください。(タイツやストッキングなど)
- ★ 女子生徒はスカートは避け学校ジャージ等のズボンで体験してください。
- ★ 多人数で時間の制約がある時は、先生方にも体験セットの脱着をお願いできると、助かります。
- ★ 今後の疑似体験授業は、生徒数30名前後で60分が希望です。しかし難しい場合は45分でも構いません。
- ★ 私語が多くなった時は、注意して下さい。
- ★ 授業をしている教室が会場の場合、レイアウト、疑似体験セットの準備のため、教室の近くで待機したい。

◎レイアウト(下記のように教室内のセッティングをお願いします)



準備を含めて、学校と協力して授業づくりを行っていきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

(2018.01.15.改訂)

高齢者体験サポータークラブ

高齢者疑似体験の事前・事後学習メモ

歩行体験

1. 歩行体験セットの取り付け方

- ①ベストは両方のポケットに重りを入れて着る。
- ②ゴーグルは眼鏡と同じようにかける。
- ③サポーターはひざが出る様に巻き、上と下にあるマジックでひざにしっかり止める。
- ④足首に重りをくるぶしの少し上に巻きマジックで留める。
- ⑤手首に重りを巻き、マジックで留める。
- ⑥ つえは体験セットが付いていない方の手に持つ。

2. 豆つまみ体験セットの取り付け方

- ①椅子に座りゴーグルを着けます。
- ②利き手側のひじに紙の筒を通します。
- ③手首に重りと手袋をつけます。

3. 廊下の歩き方 (2動作歩行)

- ・杖と悪い足を同時に前に出し、最後に良い足を引き寄せて、両足をそろえる。
- ・介助者は体験セットが付いている側で見守る。



4. 「ふりかえり」

- ①2020年度からの学習指導要領を見据えて、生徒が自分で考え、問題を解決し、自分の意見を発表する事が、身に付けられるようにします。
- ②1コマ目の授業の終わりに、生徒に宿題を出します。
- ③次回の授業では、クラスを6名ほどのグループに分けます。30名のクラスでは、5グループとなります。
- ④グループ内で、進行役、書記、発表者を決めます：5分。
- ⑤各グループは、調べてきた事を、模造紙に書きます：5分。テーマについて発表と討議を、行います5グループ x 5分 25分、討議：自分の意見を発表する。10分、計45分。
- ⑦実践にあたり、
 - *高齢者に声掛けするとき、気を付ける事の説明。
 - *高齢者が困っていないか、様子を見る(気づく)所から始まる。
 - *どんなことが出来るか、高齢者の目を正面から見て、声掛けする。
 - *相手の言ったことを、お手伝いする。



豆つまみ体験



(2018.04 改訂)

高齢者体験サポータークラブ